

ブレスト・アウェアネスについて



ブレスト・アウェアネスは『乳房を意識する生活習慣』です

ブレスト・アウェアネス（breast awareness：BA）とは、聞き慣れない言葉かもしれませんが、

ブレスト・アウェアネスは「乳房の意識化」とも訳され、女性自身が自分の乳房を意識して乳房の状態に日頃から関心をもっていただくこと、そして乳房の変化を感じたら速やかに医師に相談していただくことです。

ブレスト・アウェアネスを身に付けることは、全ての成人女性にお勧めできます。

マンモグラフィによる乳がん検診の開始年齢が40歳以上であるため、市区町村がおこなう公的検診では40歳未満の若年性乳がんを早期発見する機会がありません。

とはいうものの、もともと若年性乳がんは患者さんの数も少なく、検診マンモグラフィの有用性は証明されず、自費検診として行われる超音波検査は、それに代替する方法としての有用性は期待されるものの、まだ科学的根拠として有用性が証明されていません。

ブレスト・アウェアネスの推奨は、若年性乳がんの早期発見のために簡便かつ全国一律に行うことができる具体的な国の対応策となります。また、若年性乳がんを発症しやすいといわれる遺伝性がんや家族性乳がんの早期発見にも有効と考えられます。

ブレスト・アウェアネスの【4つのポイント】

- 1 ご自分の乳房の状態を知る
- 2 乳房の変化に気をつける
- 3 変化に気づいたらすぐ医師へ相談する
- 4 40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける

乳房をはじめ、子宮や卵巣など含めた女性特有の臓器は、妊娠・出産・授乳以外のときに活躍することが少なく、病気があってもすぐには自覚症状が出てこない傾向があるので、日頃からその存在を意識していただくことが大切です。

とくに乳がんは女性が罹るがんのなかで最も多く、日頃から乳房を意識した生活をぜひお送りください。

「ブレスト・アウェアネス」 って何？

ブレスト・アウェアネスは、**乳房を意識する生活習慣**です。
具体的には、日ごろの生活の中で次の4つを行いましょう。

ブレスト・アウェアネスの 4つのポイント

1. 自分の乳房の状態を知る
2. 乳房の変化に気をつける
3. 変化に気が付いたらすぐ医師に相談する
4. 40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける



1 自分の乳房の状態を知る

日頃から「自分の乳房の状態を知る」ことがまずブレスト・アウェアネスの第一歩です。入浴やシャワーの時、着替えの時、ちょっとした機会に自分の乳房を見て、触って、感じてみましょう。入浴の際に、石鹸を付けて撫で洗うのもいいでしょう。

2 乳房の変化に気をつける

普段の自分の乳房の状態を知ること、初めて、変化に気が付きます。

しこりを探す（自己触診）という行為や意識は必要ありません。「いつもと変わりがなかな」という気持ちで取り組みましょう。

変化として注意するポイントは

- ✓ 乳房のしこり
- ✓ 乳房の皮膚のくぼみや引きつれ
- ✓ 乳頭からの分泌物
- ✓ 乳頭や乳輪のびらん

などです。

3 変化に気が付いたら すぐ医師に相談する

しこりや引き連れなどの変化に気が付いたら、次の検診を待つことなく病院やクリニックなどの医療機関を受診しましょう。大丈夫だろうと安易に自己判断することなく専門医の診察を受けましょう。

4 40歳になったら、2年に1回 乳がん検診を受ける

乳がん検診の目的は、乳がんでなくなる女性を減らすことです。現在厚生労働省が推奨している乳がん検診（マンモグラフィ）は「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な検診です。40歳以上の女性は、2年に1回、定期的に検診を受けましょう。

また、「異常あり」という結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けるようにしましょう。

Q 「自己触診」とはどこが違うの？

自己触診は、自分で行う「検診行為」という意味合いで使われ、検診の代替えとして位置づけられます。そのため、異常を探したりしこりを見つけたりすることに主眼が置かれます。しかし実際には、その手技は煩雑で習得が難しいため、継続できずやめてしまったという話もよく聞かれます。

ブレスト・アウェアネスは、あくまで「生活習慣」として位置づけられます。自分の乳房の状態をまず知り変化に気を付けることは、日常生活の中でも十分取り組み、継続できます。また、この生活習慣を身につけることで、乳房と乳がんに対する関心が高まり、様々な情報を十分活用すること（ヘルス・リテラシー）の向上も期待されます。

まず自分の乳房の状態を知ることから始めましょう。特に閉経前の女性は、月経周期に伴う変化を知ること大切です。

日頃から自分の乳房を意識し、その状態を知っておくことで、はじめて異常の出現に気が付けるのです。

Q 高濃度乳房や偽陰性について 教えてください

乳がん検診（マンモグラフィ）で100%乳がんが検出されるわけではありません。がんがあるのに検診で発見されない場合、これを乳がん検診の偽陰性と言います。「高濃度乳房」は乳腺組織が豊富でマンモグラフィ上白っぽく写るタイプの乳房のことで、偽陰性が増える傾向にあることが指摘されています。

検診から次回の検診までの間にブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）を実践することで、このような偽陰性例の早期の発見につながることを期待できます。高濃度乳房の人はもちろん、高濃度乳房でない人も、日頃から自分の乳房を意識する習慣を身につけましょう。

更に詳しいことをお知りになりたい方は、以下のサイトをご参照ください。

「高濃度乳房についてのQ&A」
<https://breastcancer.org/information/faq/>



乳房を意識する生活習慣

ブレスト・アウェアネス



このパンフレットは
令和2年度 厚生労働科学研究費補助金
(がん対策推進総合研究事業)
「乳がん検診の適切な情報提供に関する研究」
の助成を受けたものです。

参考

乳がん検診の適切な情報提供に関する研究 HP

<https://breastcs.org/>

患者さんのための乳癌診療ガイドライン 2019 年版

<http://jbcs.gr.jp/guidline/p2019/guidline/g2/q5/>